

令和4年度 探究科

教科	探究科	科目	探究ナビ I	単位数	2単位	年次	1年次
使用教科書	なし						
副教材等	自主制作課題、プリント、など。						

1 担当者からのメッセージ（学習方法等）

探究ナビ I のテーマ：人とつながる

「生きる力の基礎（社会人基礎力）となるコミュニケーション能力を育成する。」
 アイスブレイクによって人とつながる力、また、コミュニケーション能力の基礎となる「話す」力や「聴く」力を身につけ、それらを基盤としながら課題を「見つけ」「調べ」「まとめ」「伝える」力を育てます。そしてお互いの「存在の肯定」と「対話」によって生み出されたものをチームで「表現」することに挑戦します。

2 学習の到達目標

- 【発見】人とつながることで自他の多様性と可能性に気づき、多様性が生み出す新たな価値と、可能性がもたらす新たな成長に気づく。
- 【探究】コミュニケーション能力とチームワークを発揮することで、課題解決に必要なプロセスや方法を探究する。
- 【感動】自己の主体性を活かしながらチームで取り組むことで課題解決ができることを体験し、驚きや喜び等の感動を得る。
- 【自信】課題解決の達成によって確かな自信を得て、社会の中で他者と協働しながら自己の可能性を実現していく力にする。

3 評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観 点 の 趣 旨	探究ナビの授業内容について理解し、その知識を身に付けるとともに、様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめている。	探究ナビの授業内容について、その特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、社会にみられる課題の解決に向けて構想したりして、社会の変化と関連付けて説明できる。	探究ナビの授業内容が、自己の将来において役立つ場面を具体的に想定し、主体的に行動することができる。
上に示す観点に基づいて、学習のまとめりにあわせて評価し、学年末に5段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和4年度以降入学生用

4 学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1 学期	アイスブレイク	アイスブレイクを学ぶ 名前と言葉の大切さ 集団づくり	a:アイスブレイクについて理解している。 b:アイスブレイクと探究の授業の関連性について説明できる。 c:アイスブレイクを、実生活の具体的な場面で役立てることを想定できる。	ワークシート	ワークシート	ワークシート
	コミュニケーション(基礎)	【人間関係論】 伝えることと受け止めること 肯定的な受容と応答 他者との協働 【防災】 災害と生活 防災シミュレーション	a:人間関係論について説明できる。 b:ゲームやワークの内容を踏まえ、人間関係における提案をすることができる。 c:人間関係論の技術を、日常の人間関係の中で創造的に応用できる。	ワークシート 活動評価	ワークシート 活動評価	ワークシート 活動評価
夏休み休業期間 *キャンパスメンバーズを利用した課題に取り組む						
2 学期	コミュニケーション(応用編)	【キャリア教育】 働く意義について 適性検査と仕事調べ 仕事カルタ 就職説明会の準備 1つの職業を深く調べる 発表の準備とリハーサル 就職説明会	a:働く意義について理解し、その知識を身に付けるとともに、様々な情報を適切かつ効果的に調べ、まとめている。 b:働くことに関し、多面的・多角的に考察し、社会の変化と関連付けて説明できる。 c:学びを自身の仕事選びに生かせることができ、今からの取り組みを具体的に説明できる。	ワークシート 活動評価 プレゼン発表	ワークシート 活動評価 プレゼン発表	ワークシート 活動評価 プレゼン発表
	コミュニケーション(総合編)	【演劇】 演劇について 演劇ワークショップ	a:集団の成長過程について説明することができる。 b:集団の成長について、劇づくりの体験と関連付けて具体的に述べることができる。 c:集団の成長過程の理解を応用して、課題のある集団に対する見立てと解決策を提示できる。	ワークシート 活動評価	ワークシート 活動評価	ワークシート 活動評価

※令和4年度以降入学生用

3 学 期	コ ミ ュ ニ ケ ー シ ョ ン ≡ (総 合 編)	【演劇②】	a: 集団の成長過程について説明 することができる。	ワークシ ート	ワ ー ク シ ー ト	ワークシ ート
		劇団旗揚げと役割分担 台本作りに取り組む PDC A サイクルの活用 相互評価の活用 発表準備 クラス発表 全体発表	b: 集団の成長について、劇づくり の体験と関連付けて具体的に述 べることができる。 c: 集団の成長過程の理解を応用 して、課題のある集団に対する見 立てと解決策を提示できる。	活 動 評 価	活 動 評 価	活 動 評 価
				パ フ ォ ー マ ン ス 課 題	パ フ ォ ー マ ン ス 課 題	パ フ ォ ー マ ン ス 課 題

※ 表中の観点について a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度